

◎ 会員だより

3月号の「特集」の「台風第19号への対応と今後の気候変動を踏まえた水災害対策の検討について」は、今後の水災害対策の方向性がコンパクトにわかりやすくまとめられており、参考になりました。
匿名希望（都道府県勤務、51）

日頃からインフラの維持管理業務に携わっています。2月号の「特集（社会資本の戦略的な維持管理）」ではインフラ老朽化対策の全国的な施策や、自治体等の具体的な取組み事例が掲載されていて、とても参考になりました。
匿名希望

近年、ダムの治水効果がメディアにとりあげられています。2月号の「特集」の「ダム貯水池土砂管理」を読んで、今後もさらに必要となってくる施策だと思いました。
匿名希望（都道府県勤務、25）

2月号の大石会長の「上徳不徳（日本歴史の大欠陥）」を非常に興味深く読ませていただきました。今後も歴史に関する内容を楽しみにしています。
匿名希望

2月号の「ひろば」の「地域建設業の現状と課題」を読んで、自治体工事での片務性の課題が多く残っていると思いました。一人一人の意識を変え、発注者と受注者は対等であるという事を念頭に置き、良いものを作るという一つの目標に向かい業務をすべきと思いました。
匿名希望（市町村勤務、33）

3月号の「表紙」の田野畑村の被災車両は、東日本大震災の悲惨さを物語っていますね。「ひろば（産学官民の連携による震災の教訓の伝承～動き出した「3.11伝承ロード推進機構」）」に掲載されているような取り組みによって、災害による犠牲者が少しでも減ることを祈りたいです。
匿名希望（都道府県勤務）

3月号の「巻頭言（宇宙技術の利活用）」は、一見すると異分野の話かと思いましたが、人工衛星データの発災初期やインフラ維持管理における利活用など、まさに社会インフラ整備に携わるわれわれにとって身近な内容で興味深く読ませていただきました。
匿名希望（地方整備局勤務、49）

自然災害は今後世界レベルで激甚化していくと危惧されます。私達技術者に求められる役割や責任も益々重大になり業務量も増加しますが、住民の安全安心を担っているということは、やりがいの大きさにもつながると思います。
匿名希望

3月号の「特集」の「広島市における土砂災害からの復興に向けた雨水渠の整備」は、解析モデルでは再現できない連行空気の影響等の課題に対し、水理模型実験で確認することで、貯留管径の最適化（コスト削減）が図られる等、類似検討の参考になると思いました。
匿名希望（都道府県勤務、48）

3月号の「寄稿（発注関係事務の運用に関する指針（運用指針）改正の概要）」は、今回の改正で対象となった、測量、調査及び設計に関する内容が、わかりやすくまとめられており参考になりました。工事だけではなく、委託業務についても、適切に実施する必要があることが、よく理解出来ました。
匿名希望（都道府県勤務、45）

技術士は、技術職の最高峰の資格で技術職員に是非挑戦して欲しい試験なので、「技術資格試験合格体験記」がきっかけになればよいと思います。今後も合格の秘訣やノウハウなどを掲載して欲しいと思います。
横山 彰宏（都道府県勤務、56）

3月号の「会計検査情報」では、ボックスカルバートや橋梁の設計の不当事項について書かれており、自分の業務に直結する内容であったため、非常に関心をもって拝読しました。
匿名希望（市町村勤務、36）

3月号の「実務に役立つ豆知識（i-Construction）」は、i-Constructionの背景や経緯、具体的な施策が体系的に書かれていて参考になりました。
横坪 誉統（地方整備局勤務）

新型コロナウイルスの感染拡大で現場は大混乱しております。こんなときだからこそ、経済対策のひとつとしてしっかりインフラ整備を進めることが必要だと思います。
匿名希望（都道府県勤務、46）

「第661回建設技術講習会（那覇市）」の現場研修で沖縄都市モノレール延長整備事業を見学しました。パークアンドライドなどコンパクトシティの実現につながる事例を見て、まちづくりに関する理解が深まりました。
匿名希望

「第661回建設技術講習会（那覇市）」の現場研修で一般県道20号線（泡瀬工区）橋梁整備事業を見学しました。着工後、希少生物保護問題で計画変更されており、環境・生態系との調和の重要性を認識しました。
匿名希望

「第662回建設技術講習会（鹿児島市）」の現場研修で鹿児島北バイパス整備事業を見学しました。工事看板にQRコードやアプリなどで工事概要を見ることが出来る取組みは建設業のイメージアップにもつながるので、とても参考になりました。
匿名希望

「第662回建設技術講習会（鹿児島市）」の現場研修で街路事業新町線事業を見学しました。現場で使用していた基礎工法や深層混合処理工法は、今後担当する路線で使用する予定の工法であるので、参考になりました。
匿名希望

◎ 「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546 / E-mail:kensetsu@zenken.com

